

かいづかの街道

「街道」(かいどう)とは、むかしの人々が利用した主要な交通路のことです。貝塚市内にも大小さまざまな街道がとおり、形や名称はかわっていますが、現在も国道や府道として私たちが毎日利用しています。今回、紹介する熊野街道(くまのかいどう)、紀州街道(きしゅうかいどう)は、市内をとる街道の中でも特に知られたもので、現在もその道筋をほぼたどることができ、道沿いにはたくさんの史跡がのこっています。

熊野街道

熊野街道は、京都から和歌山県熊野地方にある熊野三山(本宮、新宮、那智の3社)への参詣道です。平安時代の900年頃から白河上皇をはじめとする皇族や貴族たちがさかんに熊野へ詣で、鎌倉時代以降は庶民にも広まり、「蟻の熊野詣」とよばれるほどでした。

市内をとるのは、京・西国から熊野にいたる紀路とよばれる道です。その起点は、古くは「渡辺の津」(現在の大阪市東区京橋二丁目付近)で、そこから南下して堺、泉州をとって熊野に向かいます。

< 貝塚市内のルート >

岸和田市土生町



貝塚市 (津田川をわたる)



半田

(堂ノ池、唐間池沿いをすすむ)

麻生川(あそがわ)王子神社跡

街道沿いにあった九十九(つくも)王子社の一つ「浅宇河王子」跡。一帯は680年に秦(はた)氏によって建立された秦廃寺(はたはいじ)の推定地。

(岸和田からの水間街道と合流)

熊野街道「半田一里塚」(下写真)

大阪府指定文化財(史跡)。街道の1里(約3.93km)ごとにその目印として配置された塚。

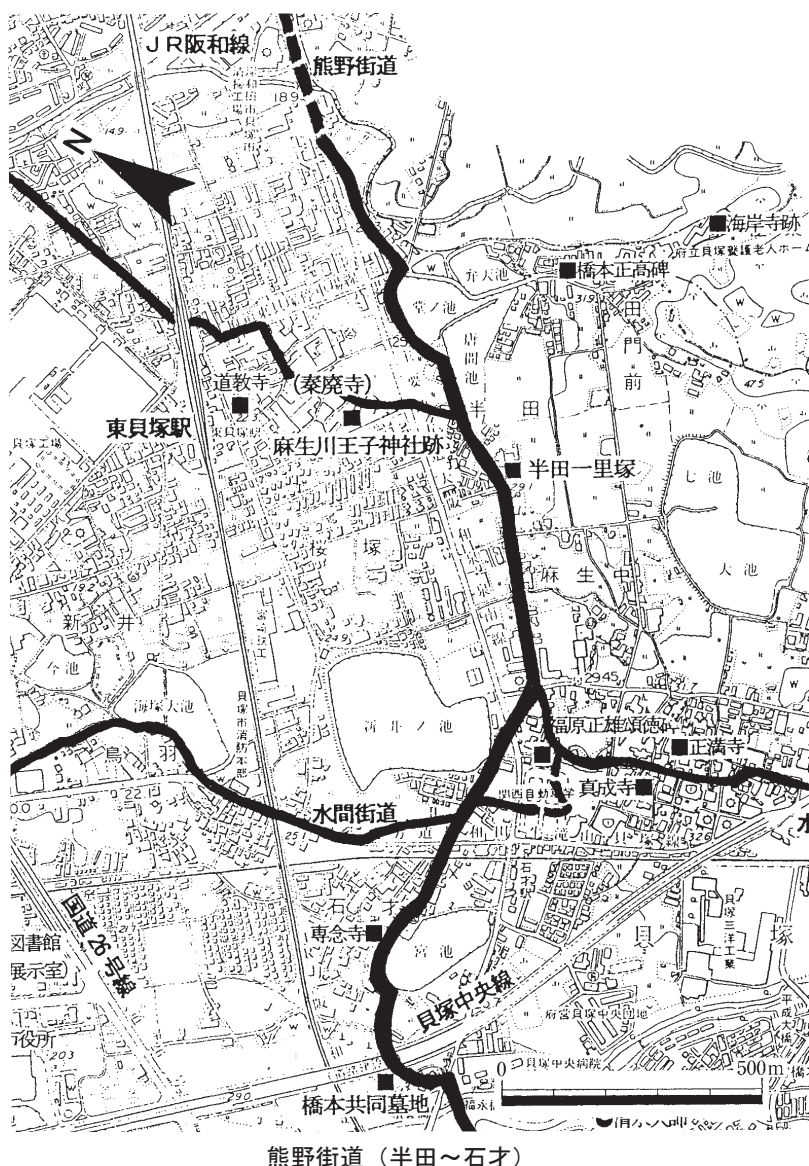


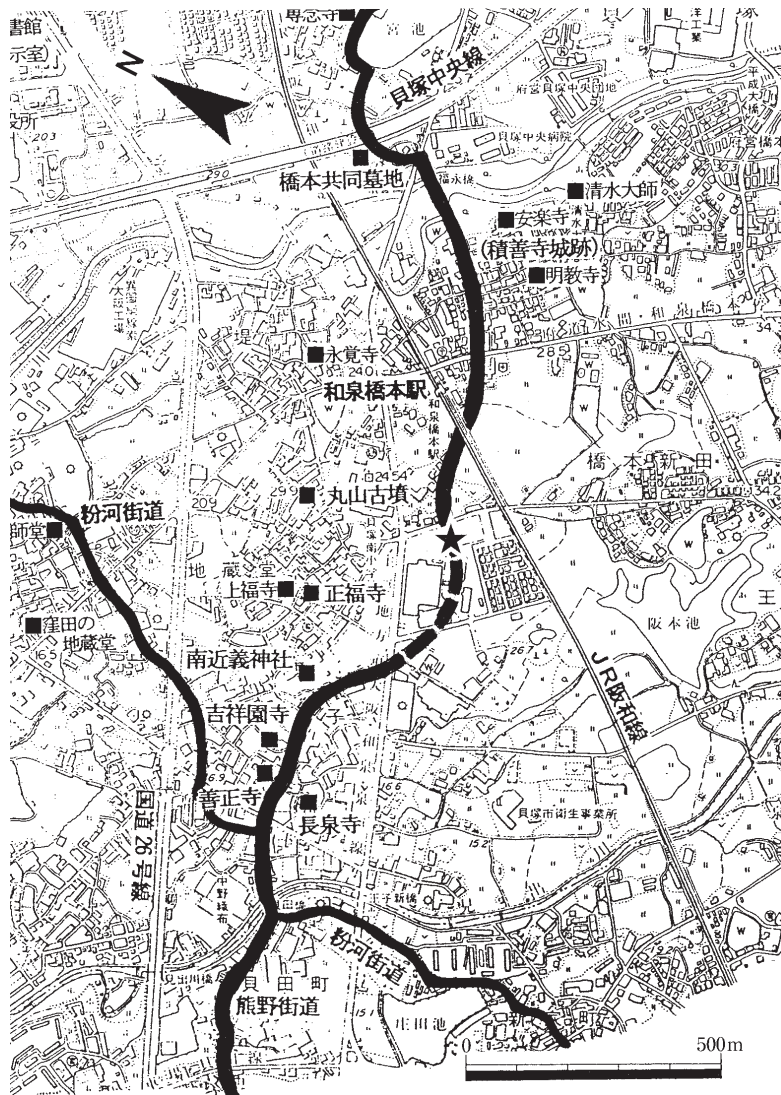
麻生中



(街道が一部とぎれる)

(貝塚からの水間街道と合流)





熊野街道（石才～王子）

石才



（宮池沿いをすすむ）

橋本

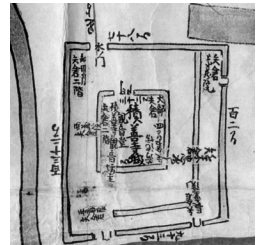
橋本共同墓地

奈良時代の僧行基（ぎょうき）が開いたという伝説が残る墓地。

積善寺（しゃくぜんじ）城跡（下写真）

1558年に和歌山の根来寺（ねごろじ）が築いた中世城郭。安楽寺境内が旧跡ともいわれます。

（JRの線路でとぎれる）



地蔵堂

丸山古墳

国指定史跡。古墳時代前期（4世紀）末に築造された全長70mの前方後円墳。

（住宅やショッピングセンターで大きくとぎれる）

★この地点では、教育委員会が行った発掘調査で街道の一部が見つかっています。

正福寺（しょうふくじ）

真言宗御室派。1122年創建。近木庄（こぎのしょう）地域の中心寺院。本尊の勝軍（しょうぐん）地蔵騎馬像が有名。

王子

南近義（みなみこぎ）神社

1284年に高野山の鎮守である丹生（にゅう）神社の分霊を迎えた神社。鞍持王子と近木王子が合祀されています。

吉祥園寺（きっしょうえんじ）（下写真）

真言宗御室派。白鳳時代（7世紀後半～8世紀前半）の創建といわれ、熊野参詣日記に休憩所として登場します。

王子地区にはこのほか、本願寺第8世蓮如（れんにょ）が滞在した浄土真宗大谷派の寺院善正寺（ぜんしょうじ）や戦国時代の僧燈誉（とうよ）が説法した場所に建立された浄土宗寺院長泉寺（ちょうせんじ）があります。

（粉河街道と合流）

（見出川をわたる）



泉佐野市貝田町

紀州街道

紀州街道は、江戸時代の18世紀半ば以降、和歌山藩主の参勤交代（さんきんこうたい）の経路として利用された大阪と和歌山をむすぶ主要な街道の一つです。中世以前の浜街道を前身とし、江戸時代の17世紀初めに整備されました。和歌山市内から熊野街道と同じルートをとって北上し、泉佐野市上瓦屋で熊野街道と分岐して泉州地域の海岸沿いをとおり、堺、大坂へいたりします。

＜貝塚市内のルート＞（南下するルート）

岸和田市南町



貝塚市津田北町（岸見橋を渡る）



津田南町

寺田紡績株式会社津田工場

紡績工場。大正時代に建築されたレンガ造りの建物が残っています。

捕鳥部万（とりべのよろず）の道標

万は飛鳥時代の人で、道標は岸和田市八田町にある万と愛犬の墓までの道のりを示しています。

（北境川をわたる）

旧貝塚寺内地域（北町～南町）

上方口（右写真）

北境川と紀州街道が交差する地点で、大坂側の出入口。



（府道で大きく拡幅されている）

宇野家住宅（国登録有形文化財）

前に紀州街道のなごり（コンクリート舗装の道路）が残ります。

願泉寺（がんせんじ）

浄土真宗本願寺派。貝塚寺内の中心寺院。境内の建造物のうち、本堂、太鼓堂、表門が重要文化財に指定され、書院、経蔵が市指定文化財。

※旧貝塚寺内地域には尊光寺（そんこうじ）（浄土真宗本願寺派）をはじめとする多くの寺院や貝塚寺内の産土神（うぶすながみ）である感田（かんだ）神社、国登録有形文化財の町家などが残ります。

（西町の交差点で水間街道が分岐）

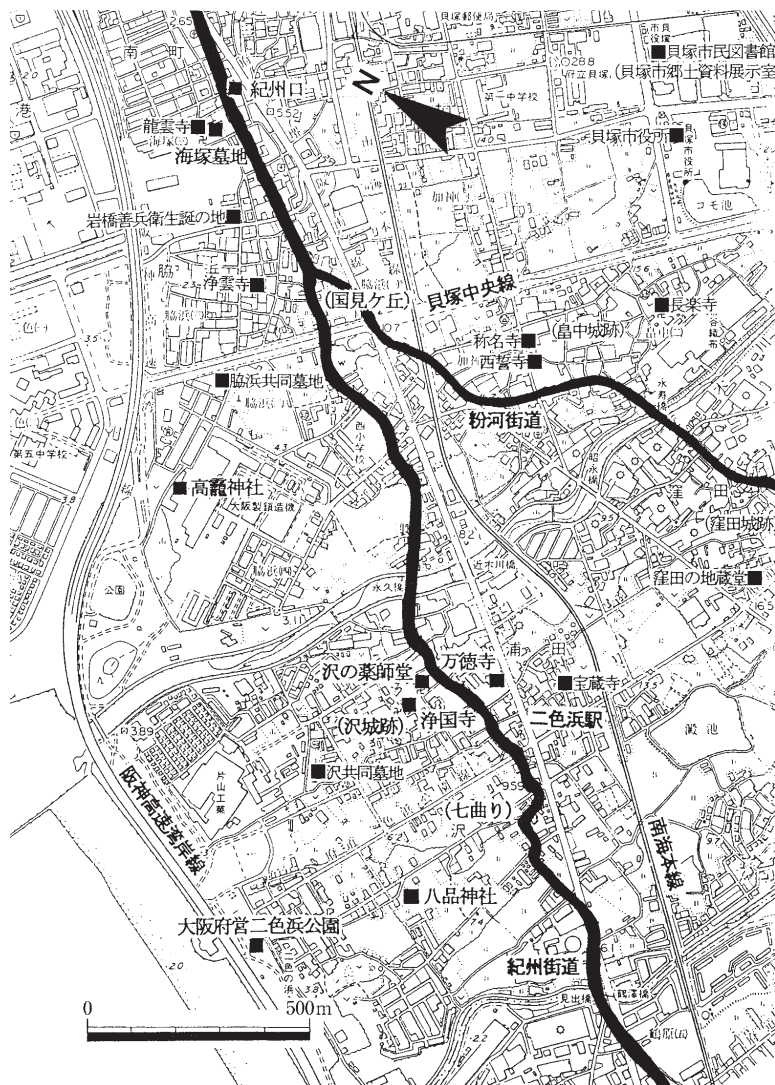
枅形（ますがた）跡（右写真）

道路がかぎ形にまがる部分で、道路の遠望をさえぎる軍事的な意味がありました。



紀州街道（津田北町～脇浜）





紀州街道（脇浜～澤）

海塚（うみづか）三丁目

紀州口

清水川と街道が交差する地点で、和歌山側の出入口。

海塚墓地

旧南貝塚村の墓地で、貝塚寺内住民も利用していました。墓地内には、江戸時代の望遠鏡製作者岩橋善兵衛（いわはしぜんべい）の墓があります。

善兵衛の生誕地は貝塚市脇浜に、彼を顕彰して造られた施設「善兵衛ランド」は三ツ松に建設されています。

脇浜（粉河街道が分岐）

「国見ヶ丘」

粉河街道の分岐点をすぎたあたりがこうよばれます。古くはここから大阪湾岸の国々が遠望できたといわれます。

高麗（たかおがみ）神社

祭神は高麗大神と事代主命（ことしろぬしのみこと）。「脇浜のえべっさん」として親しまれています。

（近木（こぎ）川を渡る）

沢

沢城跡（右写真）

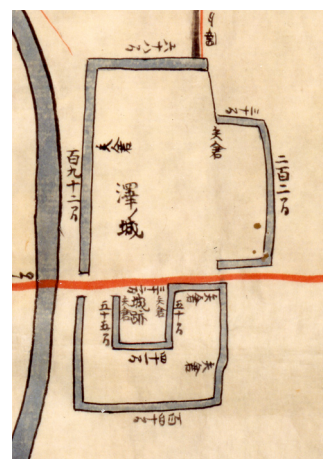
沢の集落一帯がその推定地とされる中世城郭。「浜之城」ともよばれ、1585年の豊臣秀吉の紀州攻め時には「雑賀衆ノ持タル城」として雑賀衆約6,000人が籠城しました。

「紀州街道の七曲り」

沢の集落をぬけたあたりで、街道がいくつもの小さなカーブを描くことから、こうよばれます。

沢地区には、浄土宗知恩院末の寺院浄国寺（じょうこくじ）と万徳寺（まんとくじ）や、「櫛の神さま」として親しまれる八品（やしな）神社があります。

（見出川をわたる）



かいづか文化財だよりテンプス別冊

貝塚市教育委員会発行

〒597-8585 貝塚市島中1丁目17-1

Tel (072) 433-7126 Fax (072) 433-7107

Email: shakaikyoiku@city.kaizuka.lg.jp

(2,000部作成、印刷単価20.79円)

泉佐野市鶴原